

まちの話だい

10月26日 | チームワークを育む

金谷中では、元ラグビー男子日本代表のごろうまる五郎丸歩あゆむさんを講師に招き、交流授業を開きました。

授業は、県が推進するラグビーを通じたレガシー教育の一環として開催。生徒は準備運動後、グループに分かれラグビーボールを使ったレクリエーションなどに取り組みました。五郎丸さんは「チームワークを育むには、お互いの意思疎通が大切」と生徒に笑顔で呼び掛けました。



10月26日 | 秋バラシーズン到来

島田市ばらの丘公園で、秋バラが見頃を迎えました。園内では、家族や友人同士で、咲き誇るバラを眺める姿が見られました。

秋のバラは、香りが高く、色が鮮やかになるのが特徴。来場者は、屋外でリラックス効果のあるバラの香りを堪能しながら、色とりどりの花を楽しんでいました。10月～11月頃に例年見頃を迎える同園では、バラ苗の販売なども行われました。

10月21日 | 学園でマグロ解体ショー

駿遠学園で、県飲食業生活衛生同業組合島田支部によるマグロの解体ショーが披露されました。

職人がミナミマグロやカンパチをさばき、刺し身やすしなどに調理。同支部では、昨年にも弁当を同学園に提供しており「子どもたちに喜んでもらえれば」という思いで活動を続けています。参加した生徒たちは、目の前で手際よく調理する料理人の様子を、興味深く見学していました。





10月23日 | 心もバリアフリーに

バリアフリーてけてけ隊「秋の島田商店街探検ツアー」が、コロナ禍による延期を乗り越えて、笑顔いっぱいで開催されました。

身体に障害があっても、周囲の思いやりや気配りが少し増えるだけで、この街での社会生活がもっと楽しくなるはず。会場のおび通り南側では、いろいろな立場の人たちが、ステージショーや体験ブースなどを思い思いに楽しみました。

10月22日 | 島田で芸術の秋を堪能

64回目となる「島田市民文化祭」が開会しました。展示ホールでは、1期目となる絵画部門の作品が展示され、訪れた人は1点1点に見入り、芸術の秋を堪能しました。

開会式では、^{しんばかずお}榛葉一男実行委員長は「コロナでさまざまなイベントが中止になった。参加者は、自粛生活の中、自身に向き合い、作品を作られたと思う」とあいさつしました。



10月21日 | サンカク公園で座談会

C-BASE とサンカク公園プロジェクトの共催で、「キャンピングオフィス座談会」を開催しました。

新しい働き方の社会実験として、今回が初めての取り組み。大きなテントの下には、キャンピングチェア・テーブル・ランタンが設置されました。参加者は、地域おこし協力隊員や団体職員、主婦など10人。開放的な空間の中で、仕事や家庭・趣味などのさまざまな話を通し、交流を楽しんでいました。